

三越伊勢丹のサステナビリティ「think good」がスタート

第一弾キャンペーン「アップサイクル」

～商品に、長く使うためのストーリーと価値を吹き込む～

4月7日（水）～5月11日（火）三越伊勢丹オンラインストア

4月14日（水）～5月11日（火）伊勢丹新宿店・日本橋三越本店・銀座三越

三越伊勢丹グループは、“人と時代をつなぐ”企業を目指し、社会に対する企業の責任として社会の様々な課題と向きあい、企業活動を通じてその解決に貢献することで、人々の豊かな未来と、持続可能な社会の実現に向け役割を果たしていくということを、サステナビリティ推進の基本方針として掲げています。

このたび三越伊勢丹は、想像力を働かせ、真摯に考えることから始めるという意味を含め、「think good」という合言葉のもと、サステナビリティ活動に取り組んでまいります。これは、お客さま、お取引先様、地域社会など、あらゆるステークホルダーの皆さまとともに、持続可能な社会の実現のためにできることを考え、アクションするムーブメントを起こしていきたいというものです。



三越伊勢丹の考える“サステナブル”

人や社会、地球により良いコト、より良いモノって何だろう
百貨店だからできることを、お客さまと未来について語り合いたい

「想像力を働かせ、真摯に考えることからスタートする」という想いを込めた「think good」。三越伊勢丹がつなぐ、ヒト・モノ・コトに対して常に想像し、あらゆる価値観を尊重するという意志を示しています。

創業から数百年、いつの時代も最前線で、お客さまや作り手と向き合い続けた私たちがめざすもの。過去・現在・未来、時代を超えて届けたい「物語」がある、つなぎたい「想い」がある。三越伊勢丹は、今までもこれからも、「人と時代をつなぐ」仲介人であり続けます。

「think good」と三越伊勢丹の取り組み

三越伊勢丹は、①商品、②サービス、③コミュニケーションの3つのフォーカスして、「think good」の取り組みを行います。具体的には、地域産地支援・環境保護のための**サステナブルな品揃え**、資源循環のための**4Rの推進**、文化継承のための**文化・技術・感性の発信**を通じたサステナビリティ活動に取り組んでいきます。

「think good」は年間を通じた考え方ですが、それぞれのテーマごとにキャンペーンを開催いたします。第一弾として、4月7日（水）～5月11日（火）三越伊勢丹オンラインストアにおいて、4月14日（水）～5月11日（火）伊勢丹新宿店、日本橋三越本店、銀座三越の各店舗において、4Rの推進のため、「アップサイクル」をテーマに実施いたします。



- 「think good」のステイトメントは、以下のURLからご覧いただけます。

<https://imhds.disclosure.site/ja/themes/116#1212>

- 「think good」のオンラインストア、各店舗の取り組みは、以下のURLからご覧いただけます。

・三越伊勢丹オンラインストア：https://www.mistore.jp/shopping/feature/shops_f2/st_thinkgood_sp.html

・伊勢丹新宿店：https://www.mistore.jp/shopping/event/shinjuku_e/thinkgood_10 ※4月14日（水）午前10:00～

・日本橋三越本店：https://www.mistore.jp/shopping/event/nihombashi_e/thinkgood_50

・銀座三越：https://www.mistore.jp/shopping/event/ginza_e/thinkgood_51

think goodキャンペーン「アップサイクル」

- 4月7日（水）～5月11日（火）三越伊勢丹オンラインストア
- 4月14日（水）～5月11日（火）伊勢丹新宿店・日本橋三越本店・銀座三越



三越伊勢丹の考える“アップサイクル”

大切に使う価値、よく愛せるストーリー、手放す時も美しく…
“私たちが思いアップサイクル”とは何か、ともに考え、後世につなごう

アップサイクルとは、一般的に不要になったモノに新しい付加価値をもたせ、また新たなモノに生まれ変わらせること。

三越伊勢丹は、「価値」だけでなく「ストーリー」まで宿すことをアップサイクルと考えます。一度は役目を終えたモノでも、デザインやアイデアを吹き込むことで、また新しい物語が生まれ、それが「モノを大切に長く使う」ことにつながるはず。

伊勢丹新宿店

電子ゴミをアートに昇華する長坂真護氏の展覧会

4月14日（水）～25日（日） ※4月14日（水）および最終日は午後6時終了
本館6階 催物場 「長坂真護展 一天命回帰/Still A “BLACK”STAR-」

「文化」「経済」「社会貢献」が持続的に回る形態「サステナブル・キャピタリズム」を提唱するMAGO氏。ガーナのスラム街での貧困問題と環境問題をアートの力で先進国に伝え、スラム街をエコタウンに変えるために、電子ゴミを使ったアート作品を制作・販売。そんなMAGO氏の活動、作品、そのストーリーをお伝えする展覧会です。

「アビドゥー ON THE GROUND」 22,000,000円



KUROZOME REWEAR 黒く染め替えて生まれ変わる服

本館3階 リ・スタイル

■ オンラインストアの特集記事で取り組みをご紹介します



お気に入りだったけど、汚れてしまったり、色が褪せてしまった服を、捨ててしまう前にもう一度黒に染め替えて。日本の伝統的な正装である黒紋付だけを10年間染めて続けてきた「京都紋付」が、独自の深黒加工（しんくろかこう）で、深みのある黒に染め替えます。

役目を終えた「ジェイムウエストン」をニューコレクションに

4月7日（水）～20日（火）メンズ館1階 プロモーション
「J.M. WESTON VINTAGE SHOP」

■ オンラインストアの特集記事で取り組みをご紹介します

役目を終えた「ジェイムウエストン」のシューズを下取りし、フランス・リモージュの自社工場で熟練の職人がリペアを施し、ニューコレクションとしてリリース。ニューコレクションを国内先行販売いたします。



日本橋三越本店

思い出が詰まった家具を修理して未永く

本館5階 家具インテリア

<ダニエル>家具の病院®は、横浜クラシック家具の老舗家具<ダニエル>の熟練の職人が、お客さまの大切な家具を蘇らせます。

※写真はイメージです



BEFORE

AFTER

日本橋三越本店

愛着を育てて「捨てない」を当たり前

新館7階 <i'm green>



2020年10月からトライアルとしてスタートした「三越伊勢丹 i'm green (アイムグリーン)」は、“捨てない社会”の実現に向けた、三越伊勢丹のお買取・お引取サービスです。衣料品の一部は、資源としてリサイクルする方法もご用意しながら、専属スタイリストが適した方法をご提案いたします。

■ <i'm green>については、こちらから。

<https://www.mistore.jp/store/nihombashi/service/imgreen.html>

■ 「洋服ポスト」の開設

4月28日(水)～5月2日(日)、新館7階特設会場<i'm green> 向かいにて、衣類リユースを社会貢献活動につなげる「洋服ポスト」を開設。ともに、サステナビリティ活動に向けた取り組みを行います(「洋服ポスト」については、同ページに別記載あり)。

銀座三越

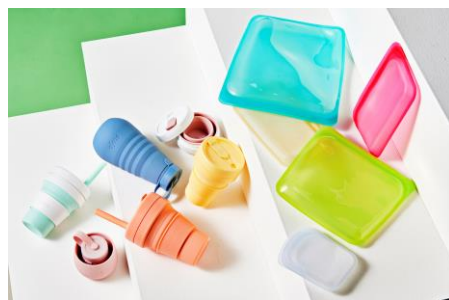
ゴミを減らしたい。個性的で実力派のマイカップ&保存容器

本館3階 ル プレイス

■ オンラインストアでも販売

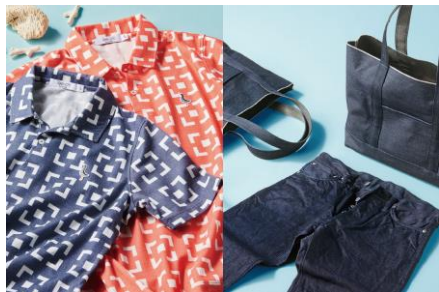
シリコン製で繰り返し使え、たたんで気軽に持ち運べる<stojjo (ストージョ)>のマイカップは、中身が漏れにくい設計で、食洗機も使えてお手入れも簡単。同じく耐熱性・伸縮性に優れた保存容器<stasher (スタッシャー)>は、耐久性と密閉性に優れ、電子レンジなどを使った調理に活用できます。マチがあるので、冷蔵庫のポケットに立てて入れられるのもポイントです。

(左から) <ストージョ>、<スタッシャー>



OKINAWA発。自然への想いやストーリーが楽しめるアイテム

4月14日(水)～27日(火) 本館5階 GINZA ステージ



<Tee-chi>のポロシャツは、沖縄の海の「風化造礁サンゴ」を生地に練り込みました。自然由来のUVカット効果や保温性を兼ね備えており、スポーツのシーンでも活躍する機能性新素材です。

「SHIMA DENIM WORKS」からは、「さとうきび」を製糖する際に発生する搾りかす「バガス」に注目し、デニム生地として生まれ変わったアイテムをご用意。エンカルでありながら、日本各地の技術を結集したジーンズや、トートバッグ、ポーチをご紹介します。

(左から) <Tee-chi>、<SHIMA DENIM WORKS>

洋服ポスト@三越伊勢丹

■ 会期: 4月28日(水)～5月2日(日)

■ 場所: 伊勢丹新宿店 メンズ館8階イセタンメンズレジデンス 紳士服出来上がり品お渡し場
日本橋三越本店 新館7階 特設会場<i'm green> 向かい
銀座三越 本館7階 銀座シャンデリアスカイ

「洋服ポスト」は、特定非営利活動法人 洋服ポストネットワーク協議会が運営する取り組みで、まだ着られるけれど眠っている洋服を再利用する仕組みです。今回、三越伊勢丹もこの取り組みに賛同し、4月28日(水)～5月2日(日)の期間、伊勢丹新宿店、日本橋三越本店、銀座三越に、「洋服ポスト」を開設いたします。洋服は、古着マーケットで販売することで誰かのお気に入りとしてリユースされ、さらに集まった衣類の重量に応じた金額を、支援金として日本赤十字社に寄付いたします。

【洋服ポストへの投函の仕方】

まだ着られる衣類を紙やビニールの袋に入れて、洋服ポストの開設場所にご持参いただきます。

【洋服ポストに投函できるもの】

原則として、洗濯や修繕をせずにそのままの状態です。男性・女性・子ども・マタニティ服、夏・冬物、混ぜて構いません。裏地やタグにネームが入っているのは構いませんが、汚れや破れ、破損のあるものはお預かりできません。三越伊勢丹以外でお買い求めの商品もお引き取りいたします。商品のお引き取りは、お一人さま10点までとさせていただきます。

■ 「洋服ポスト」については、こちらをご覧ください。 <https://www.yofukupost.net/>

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社三越伊勢丹 MD統括部マーケティンググループ MD計画 広報PR担当

TEL.03-3225-2474 FAX.03-3225-3646

ISETAN

MITSUBUKI